

# 父の農業物語

チェ・ジウォン



# 父の農業物語

20110144 최 지원

チェ.ジウオン

# 目次

第1話

第2話

第3話

第4話

後記

# 第1話ー

父の紹介とインタビュー、  
そして現在の農業の現場を  
簡単に説明します。

# 父の紹介



名前：チェ.インソク

生年月日：1961年12月17日（陰暦）

家族構成：母、妻、娘二人

故郷：キョンギ道ヤンジュ市

職業：農家

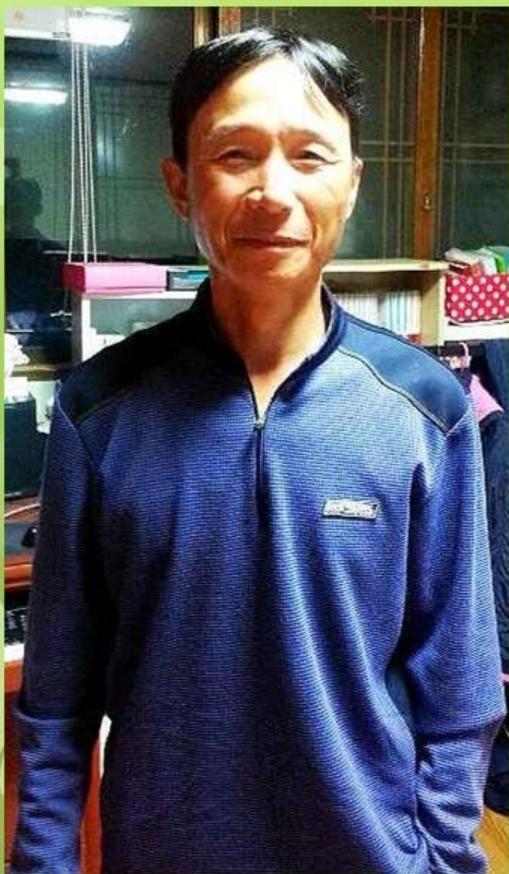
経歴：約12年

主要作物：米、キュウリ、唐辛子、白菜、ナス、エホバク（カボチャの一種）、トマト、ジャガイモ、サツマイモ、ホウレンソウ、チシャ、ネギ、大蒜、フダンソウ、春菊…など

趣味：釣り



→  
エホバク



# 父にインタビュー

## 農業を始めた理由は？

元は父がやっていた仕事だったが、父の健康状態が悪くなり続ける事が出来なくなったので元の仕事をやめて父の農業を受け継ぐ事になりました。

## 農業の長所は？

努力した分だけの結果が出るところ、  
自分だけの時間が多いところ、  
綺麗な自然の中で仕事をするから体にもいいところ、  
いろいろな事が実験出来る場所など

## 農業の大変な所は？

基本的に肉体労働だから体に疲労がたまるところ、  
自然災害、気象の異変、  
たくさんのお金が掛かるところなど

# 農業の現場



ビニールハウスが17個  
あって、今はフダンソウ  
をそだてています。

# 農業の現場



フダンソウをそだでているハウスの中です。父と母と祖母がフダンソウを摘んでいます。

## 第2話一

家の風景と父が使う  
農業機械、そして  
現在のハウスの中を  
簡単に説明します。

# 家の風景



建てられてから22年が経った我が家です。

# 家の風景



見張り小屋と甕です。甕の中には祖母が作ったコチュジャンと味噌が入っています。

# 車庫の中



父が一番大事にしているトラクターです。  
農業にはぜったい必要な機械の一つです。  
畑を耕すとき意外いろいろなとな時にやくにたつ機  
械です。

# 車庫の中



## 散布機

作物が育つまえにいろいろな肥料を混ぜてまく機械です。

## 車庫の中



### 消毒器

作物が育だった後に作物に肥料をまいたり消毒する時につかう機械です。

# ハウスの中



今育てている春菊とフダンソウです。

# ハウスの中



藁はいい肥料になります。  
来年にいい作物を育てるためにトラクターを使ってハウスの中に入れました。

## 第3話－夏の出来事 上

父は夏には何時もキュウリと  
エホバク育てます。

今回はキュウリのことと、

キュウリを整理して

エホバクを育てる前の

ある出来事を話します。

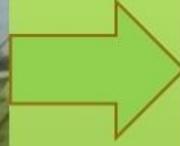
## 夏の出来事（キュウリ）



父が一所懸命にそだてたキュウリです。  
いいキュウリの条件は、一つ目、曲がった形じゃいけません。  
二つ目、色が黒くてはいけません。  
三つ目、太くて短い形じゃいけません。



母が取ったキュウリを選別しています。  
曲がったり、色が黒かったり、太くて短いキュウリはあまり商品  
価値がないので、いいキュウリとよくないキュウリを別々に集め  
て整理します。



いいキュウリは袋に入れて包装して全国の八百屋とスーパーに農産物を流通しているガラク市場に送ります。

## 夏の出来事（梅雨の残骸）



自然災害は農業に大きな被害を与えます。  
キュウリを整理している時に梅雨が来たので大きな被害  
はありませんでしたが、修復が大変なのは同じです。

## 第4話－夏の出来事 下

上編に続いて今回は  
エホバクを育てる前の  
ある出来事と、  
ホバクのことを話します

## 夏の出来事（虫の襲撃）



エホバクの苗を植えて数日後、土にワラジムシがいっぱい現れました。梅雨のせいで土が湿ってワラジムシがいきるのによい環境になったのが原因だと思います。ワラジムシがエホバクの根を食べて被害を与えました。農薬を引っ掛けて殺しました。

## 夏の出来事（エホバク）



エホバクは韓国にあるカボチャの一種でズッキーニに似ていますが、ちょっと違います。

ズッキーニと違ってエホバクの色は薄い緑色をしています。エホバクは主に韓国の味噌汁に入れられたり、チヂミにして食べます。



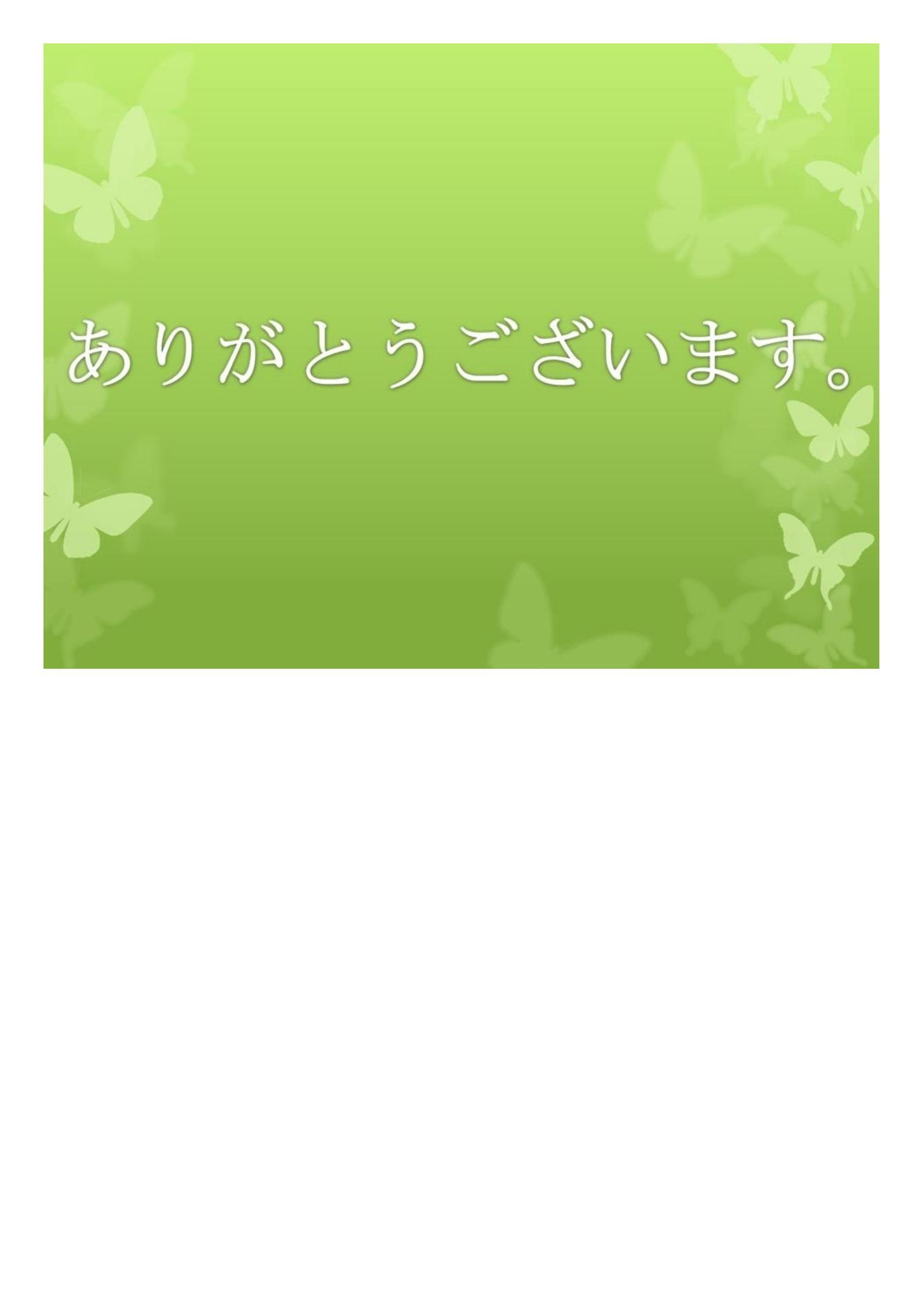
最近は形がよくて表面に傷がないエホバクを、インキュベーターと言うプラスチックの袋に入れたまま育てて、袋の中で大きくなったら取ります。このようなエホバクをインキュホバク言います。随分手が掛かるが、その分おいしいです。



エホバクは箱に入れて包装してキュウリと同じく、全国の八百屋とスーパーに農産物を流通させているガラク市場に送ります。

# 後記

小さい時の私は父の事を恥ずかしく思っていました。  
それで下肥の匂いがする父が私に近づくと、私は大声でくさいと言  
いながら逃げました。  
小学生の時、自己紹介で父の仕事を農業と言った事で、男の子たち  
にいじめられました。  
私に近づくと下肥の匂いがすると言いながら…。泣きながら私は父  
を憎みました。  
今は父の事を誇りに思っていますが、そんな時もありました。  
恥ずかしい話が、自分の父の仕事の話なのに、農業についてあまり  
知っていませんでした。  
父の話を書く事で、私は父がこんなにも一生懸命頑張って仕事をし  
ている事を気づきました。  
そして父と話し合う事で、父との絆がより深くなりました。  
本当にこういう機会があってよかったと思います。  
この喜びを感じられたのは、手伝ってくれた父と家族のおかげです。  
家族に感謝しています。

The image features a solid green background with a subtle, repeating pattern of light green butterflies scattered across it. The butterflies are in various orientations and sizes, creating a delicate, decorative texture.

ありがとうございます。



## 父の農業物語

<http://p.booklog.jp/book/80720>

著者：チェ・ジウォン（関東大学校）

編集・装丁：丸島歩

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/kd-marushima/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/80720>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/80720>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ